



学力低下と保守化

昨日・今日は、東大などの2次試験日である。3年生諸君の健闘を期待したいが、最近テレビによく出ているTハイスクールのH先生（現代文）が、「今でしょ先生「大学生の学力低下、東大京大も例外じゃない」というタイトルで、ネット上のインタビューに答えている。面白いので引用してみよう。

＊

——（受験生の）学力は上がっているんでしょうか？

H：平均でいうと、明らかに落ちています。理由は単純で、少子化で学生の人数は減っているのに、大学の定員はそれほど減っていないから。だから東大でも、下のほうはかなり厳しく、大学側も危機感を持っているようです。ただ、上位10～20%は変わっていませんね。びっくりするくらい優秀な生徒は確実にいます。

——東大でも学力低下が問題になっているんですね。最近一部で、東大と京大の就職差が話題になりましたが、学力的にはいかがでしょうか。

H：受験勉強面だけで言えば、特に文系では、今や完全に京大は東大の下ですね。関西のおもしろいヤツが京大に行くとか、そういう個性の面での違いはもちろんあると思いますがね。差が付いた原因はいろいろ考えられます。一つは、受験においても、東京一極集中が加速していることですね。情報化が進み、移動も便利になるなかで、東京だけが突出してしまった。僕は年200日ほど出張して、いろいろな地域を見て、それを実感しています。

それから、一橋大学が上がっていることもありますね。これも東京一極集中が背景にあって、東工大なんかも上がっています。で、相対的に京大が下がっている。

もう一つ大きいのは、今の若者は、国立の医学部志望がものすごく多いんです。安定志向だから。

——つまり、医学部に行けば将来安泰だと。

H：食いつぱくは無いだろうと。例えば、一昔前なら京大の理学部に行っていたような子が、いまは大阪大学の医学部に行くんです。それで国立大の医学部に、優秀な人材が集中するようになった。一方、技術立国日本を支えてきたような理系の学部で、なかなか人材がいかない。国立の医学部に、のきなみ人材が吸い尽くされて、他大学が低下している。これは大問題だと思いますよ。

——なぜ若者たちはそんなにも保守化しているのでしょうか。

H：やはり、将来への不安が根本にあると思います。経済の先行きが暗いというのは、世の中のあるあらゆる面に悪影響を与えるんです。今は、先が読めない時代。若者が自分を守ろうとするのは、仕方のないことなのかもしれません。あれだけテレビでブレイクしているスギちゃんやキンタロー。でさえ、近い将来への不安を吐露しますよね。ああいう人が不安だったら、誰が自信を持てるんですかって。

でも、これは、我々の責任なんです。若者に希望を与えるのが我々大人の仕事ですから、我々の力不足。少しでも、なんとかしなければと思っているんですけど。（以下略）